



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 政志

問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー (氏名) たき澤 諭

TEL 03- 3283- 5041

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	621,739	3.7	38,658	14.8	43,404	31.9	40,068	10.0
2023年3月期第3四半期	599,322	14.1	45,400	1.1	63,779	9.4	44,519	13.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 67,271百万円 (0.0%) 2023年3月期第3四半期 67,292百万円 (42.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	196.18	
2023年3月期第3四半期	216.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,060,801	667,029	60.4
2023年3月期	1,029,317	671,249	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 640,644百万円 2023年3月期 607,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		40.00		40.00	80.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	2.4	46,000	6.2	49,000	29.8	47,000	4.2	231.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外2社(社名)(株)JSP、JSP International Group Ltd.

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	222,239,199 株	2023年3月期	222,239,199 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	21,184,028 株	2023年3月期	17,660,740 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	204,243,081 株	2023年3月期3Q	205,547,654 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TNetで同日開示しています。また、2024年2月9日(金)に証券アナリスト・機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における世界経済は、中国経済の低迷が長期化し、その回復ペースは想定以上に遅く、欧米景気も急速な金融引き締め政策等により減速しており、経済活動の鈍化に伴って財需要が低迷するなどの厳しい状況が続きました。またウクライナ危機の長期化に加え、足元では中東地域をめぐる情勢の緊迫化など地政学的な緊張感も増しており、景気の先行きが見通しにくい状況が継続しております。

このような状況下、当社グループは、2021年度よりスタートした中期経営計画「Grow UP 2023」の最終年度として、今年度も「環境変化に強い収益構造への転換」を図るべく、「競争優位(“差異化”)事業の更なる強化」「新規事業の創出と育成の加速」「不採算事業の見直し・再構築」等の施策による事業ポートフォリオ改革を推進しております。

当社グループの売上高は、メタノールやアンモニアの市況下落や、芳香族化学品などの販売数量減少が減収要因となりましたが、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)が新たに連結対象となったことや円安の影響が上回り、増収となりました。

営業利益は、円安に加え、ポリカーボネートや発泡プラスチック事業の採算改善、電子材料の需要回復などが増収要因となったものの、前年同期に好調であったポリアセタールの市況下落や、芳香族化学品、メタノール・アンモニア系化学品などの販売数量減少等により減益となりました。

経常利益は、メタノール市況の下落により海外メタノール生産会社における持分法利益が減少したことや、前年同期にベネズエラの海外メタノール生産会社において計上された繰延税金負債の取り崩しによる一過性の利益が剥落したこと、営業利益が減少したことなどから減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化に伴う段階取得差益の計上等が増収要因となりましたが、経常利益が減少したことなどから減益となりました。

以上の結果、売上高6,217億円(前年同期比224億円増(3.7%増))、営業利益386億円(前年同期比67億円減(14.8%減))、持分法利益14億円(前年同期比129億円減(90.1%減))、経常利益434億円(前年同期比203億円減(31.9%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益400億円(前年同期比44億円減(10.0%減))となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔基礎化学品〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ下落したことなどから減収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売数量が減少したことや、アンモニア等の市況下落により減収減益となりました。

エネルギー資源・環境事業は、発電用LNGの販売が当第3四半期連結累計期間にはなかったことから減収となりましたが、ヨウ素の販売数量増加及び市況上昇などにより増益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツは、欧米の景気減速に伴う需要低迷により、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売数量が減少したことなどから減収減益となりました。

キシレン分離/誘導品は、高純度イソフタル酸(PIA)の市況下落などから減収減益となりました。

発泡プラスチック事業は、製品価格改定等による売上の増加や、コスト削減などから増益となりました。

以上の結果、売上高3,188億円(前年同期比413億円減(11.5%減))、営業利益164億円(前年同期比24億円減(13.0%減))、経常利益165億円(前年同期比125億円減(43.1%減))となりました。

〔機能化学品〕

無機化学品は、半導体需要の低迷により、半導体向け薬液の販売数量が減少したことなどから減収となりましたが、原燃料価格や輸送費の上昇等の販売価格への転嫁などにより前年同期並みの損益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化により増収となったことに加え、高付加価値品の販売増等によりポリカーボネートの採算は改善しましたが、ポリアセタールの市況が下落したことなどから、全体では減益となりました。

光学材料は、光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォンにおいて、第2四半期から新機種の生産が立ち上がり、需要の回復基調が続いた結果、前年同期並みの損益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料において、スマートフォン向け材料やPC向け材料の需要が回復したことなどから増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、国内食品用途における巣ごもり需要の反動や、輸出版売の減少に加え、原材料価格の上昇等もあり、減収減益となりました。

以上の結果、売上高3,027億円(前年同期比637億円増(26.7%増))、営業利益249億円(前年同期比34億円減(12.3%減))、経常利益293億円(前年同期比41億円減(12.5%減))となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は1億円、営業利益は0億円、経常利益は1億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて314億円増加の10,608億円となりました。

流動資産は、41億円減少の4,791億円となりました。減少の要因は、現金及び預金の減少などです。

固定資産は、356億円増加の5,816億円となりました。増加の要因は、投資有価証券の増加などです。

負債は、357億円増加の3,937億円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより357億円増加しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより0億円減少しました。

純資産は、42億円減少の6,670億円となりました。減少の要因は、非支配株主持分の減少などです。

この結果、自己資本比率は60.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年11月8日に公表しました2024年3月期の連結業績予想などを修正しておりますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,378	89,350
受取手形、売掛金及び契約資産	176,626	158,748
有価証券	93	—
商品及び製品	89,367	113,384
仕掛品	22,331	19,653
原材料及び貯蔵品	66,444	68,061
その他	20,775	30,521
貸倒引当金	△767	△595
流動資産合計	483,249	479,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,143	85,136
機械装置及び運搬具(純額)	87,890	84,498
その他(純額)	123,733	130,204
有形固定資産合計	313,767	299,839
無形固定資産		
のれん	4,425	17,258
その他	7,555	7,596
無形固定資産合計	11,980	24,855
投資その他の資産		
投資有価証券	200,101	239,548
その他	22,141	18,899
貸倒引当金	△1,922	△1,466
投資その他の資産合計	220,320	256,982
固定資産合計	546,068	581,676
資産合計	1,029,317	1,060,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,342	106,926
短期借入金	47,913	61,363
未払法人税等	5,274	5,224
引当金	6,714	3,937
その他	72,197	78,717
流動負債合計	220,442	256,169
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	74,680	66,560
引当金	3,383	2,708
退職給付に係る負債	4,453	5,122
資産除去債務	5,272	5,104
その他	29,835	28,105
固定負債合計	137,625	137,602
負債合計	358,068	393,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,293	35,521
利益剰余金	521,426	545,127
自己株式	△23,838	△31,828
株主資本合計	573,852	590,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,950	12,427
繰延ヘッジ損益	110	△59
為替換算調整勘定	22,894	36,195
退職給付に係る調整累計額	1,805	1,290
その他の包括利益累計額合計	33,760	49,853
非支配株主持分	63,636	26,385
純資産合計	671,249	667,029
負債純資産合計	1,029,317	1,060,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	599,322	621,739
売上原価	463,745	484,379
売上総利益	135,577	137,360
販売費及び一般管理費	90,176	98,701
営業利益	45,400	38,658
営業外収益		
受取利息	582	1,348
受取配当金	2,870	3,124
為替差益	3,046	2,399
持分法による投資利益	14,385	1,427
その他	2,036	1,975
営業外収益合計	22,921	10,276
営業外費用		
支払利息	1,247	2,151
出向者労務費差額負担	1,380	1,074
その他	1,914	2,304
営業外費用合計	4,542	5,530
経常利益	63,779	43,404
特別利益		
段階取得に係る差益	—	15,085
投資有価証券売却益	1,380	2,830
受取保険金	—	1,423
補助金収入	—	877
子会社における送金詐欺回収益	182	—
関係会社事業損失引当金戻入額	112	—
特別利益合計	1,675	20,217
特別損失		
関係会社株式売却損	—	2,843
減損損失	113	859
固定資産圧縮損	—	704
固定資産処分損	505	307
貸倒引当金繰入額	250	150
関係会社株式評価損	755	—
土地整備費用引当金繰入額	273	—
特別損失合計	1,896	4,865
税金等調整前四半期純利益	63,558	58,756
法人税等	14,718	11,977
四半期純利益	48,839	46,778
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,319	6,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,519	40,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	48,839	46,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,881	3,615
繰延ヘッジ損益	145	△192
為替換算調整勘定	11,852	12,356
退職給付に係る調整額	△380	△182
持分法適用会社に対する持分相当額	8,717	4,895
その他の包括利益合計	18,453	20,492
四半期包括利益	67,292	67,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,047	56,147
非支配株主に係る四半期包括利益	8,245	11,124

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得しています。この結果、三菱瓦斯化学工程塑料(上海)有限公司に対する当社持分が変動し、資本剰余金が1,202百万円増加しております。

当社は、2023年11月8日の取締役会決議に基づき、自己株式3,555,100株の取得を行いました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が7,990百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が31,828百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社でありました(株)JSPが実施した自己株式の公開買付け(以下「本公開買付け」)に当社が応募し、本公開買付けが成立したことにより、(株)JSPを連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めております。

また本公開買付けの成立に伴い、JSP International Group Ltd.を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	360,215	239,004	102	△0	599,322
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,508	111	4	△5,625	—
計	365,724	239,116	107	△5,625	599,322
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	29,050	33,500	△98	1,327	63,779

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額1,327百万円は、セグメント間取引消去591百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益736百万円であります。

全社損益は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「基礎化学品事業部門」において113百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	318,882	302,733	123	0	621,739
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,108	227	9	△6,346	—
計	324,991	302,961	132	△6,346	621,739
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	16,519	29,320	103	△2,538	43,404

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△2,538百万円は、セグメント間取引消去△114百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△2,424百万円であります。

全社損益は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能化学品事業部門」において859百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「基礎化学品事業部門」において、(株)JSPの株式を売却し連結の範囲から除外したことにより、2,548百万円ののれんが減少しております。

「機能化学品事業部門」において、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得し連結子会社化したことにより、16,835百万円ののれんが発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。